

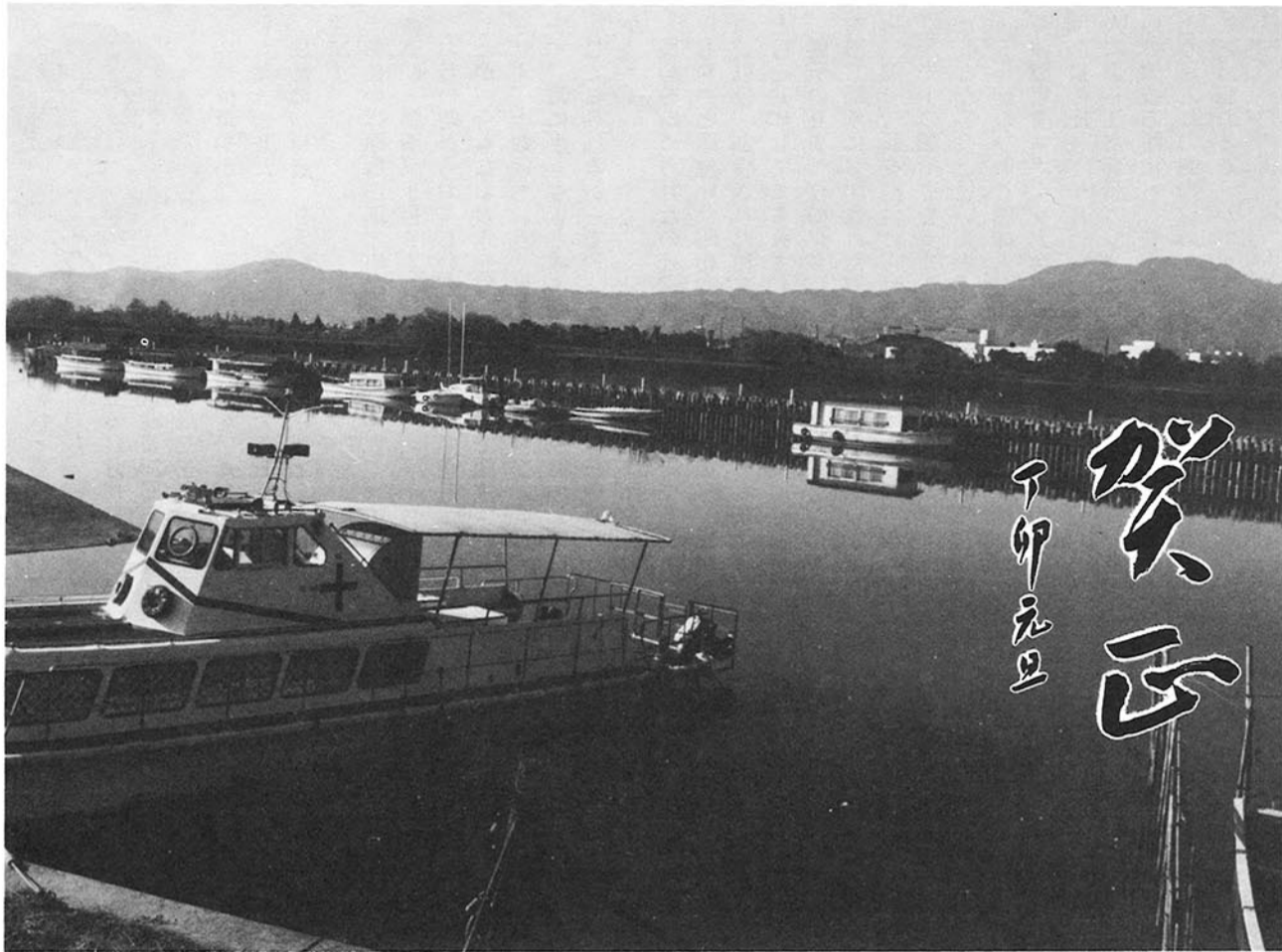
# 膳所市民ニュース

膳所市民ニュース  
発行

昭和62年1月1日発行

編集  
膳所市民ニュース会  
編集委員会  
(膳所公民館内)

学区内の世帯数・人口	61年8月末現在
世帯数	6,226
人口	8,263
男	9,011
女	17,274



写真は、新矢橋港 (草津市)

淡海のや 矢橋の小竹を 矢看がずて  
まことありえめや 恋しきものを (巻七一三言)  
江戸時代東海道の近道として、対岸の打出  
浜との間に渡舟が利用されてにぎわった。矢  
橋の帰帆」はその風景で、近江八景の一つ。

賀詞揮毫は、杉江美代史氏  
中庄二丁目5-13 朋墨会  
(膳所公民館利用者団体) 講師  
写真は、西川 勇氏の撮影・提供  
相模町5-26 日本写真家協会会員

「瀬田へ私大を誘致するの  
に市は20億もの金を出すそう  
や」「市の北や南部の整備は  
目を見張るばかりや」「折角  
あった市民病院は隣の平野へ  
持って行くわ」「下水処理場  
と火葬場、ごみ焼却場(現在  
は富士見)だけ残して」「大  
津市との合併条件では図書館  
美術館を建てる約束やったの  
に」「最近の市議会で膳所に  
総合資料館を建てること採  
択されたにもかかわらず、現  
市役所の裏に建つそうや」「見  
てみ、膳所の町中を、狭い道  
路に溝蓋もあらへん。おまけ  
に元々二車線でもないものを四  
車線に拡張した近江大橋のお  
かげで、生活道路にまでどん  
どん車が入り込んできよる」  
「なぎさ計画とかで膳所公園  
の湖岸をちよちよこと整備  
したり、野外劇場とかを新設  
したのはよいが、観覧席もな  
い中途半端なもの。又、掘を  
作る工事を始めるなど、長期  
的ビジョンもなくその場凌ぎ  
の計画や」「市の人口の約一  
割を占める膳所学区の町づく  
りを、余りにもおろそかにし  
ている。むしろ旗でも立てて  
市へ押しかけ、市民税不払運動  
でも起こそうか」等々、物騒な  
言葉があちこちでささやかれ  
ているのが膳所の現状である。  
ところで、優れた歴史と  
先人の英知・努力によって築  
き上げられた膳所の町を、21  
世紀へと守りつなげていくた  
めには、望ましいビジョンの

樹立と実現への努力が欠かざ  
ないし、それは現在を生きる  
私達学区民の責務でもある。  
殊に、62年の年頭に当り「風  
土と歴史に支えられた膳所の  
まちづくり」プランの創造を  
強く提案し、且つ市県国や関  
係諸機関、民間等の協力を担  
い、実現されることを強く  
希望するものである。  
膳所公園と周辺の整備  
①旧野外音楽堂を撤去し、  
公園北側のどぶ溜りを埋め立  
て、五百台収容の駐車場建設。  
②近江大橋詰めの舟溜りを  
整備し、釣橋、ヨット橋、  
湖上タクシー用橋等を新設。  
③野外劇場前に千人分の観  
客席(屋根付)を新設。  
④園内路のカラー舗装。  
⑤モニメントや近代彫刻  
の新設展示。  
⑥私物化されているバス停

付近の駐車場を廃止して消防  
分遣所を新築移転させる。  
⑦水泳プールを撤去して、  
市民センター用地又は駐車場  
に充てる。プールは公園湖岸  
に移し、競泳並びにレクリエ  
ーションプールとして、民間  
の活力を導入運営する。  
⑧コミュニティづくりの核  
となる市民センター新設を促  
進する。外観は城を模し、展  
望室、資料室、大中ホール、  
会議室、和室、工作(絵画、  
彫塑・木、金工)室、音楽室、  
視聴覚教室、調理・試食室、  
図書室、若い母親の学習のた  
めの保育室、談話・相談室、  
展示・ラウンジ、サウナ付ト  
レーニング室、斎場、レストラ  
ン・テイルーム等を完備させる。  
⑨駐車場は数百台収容でき  
不法駐車防止のため電動ゲー

トを設置する。  
道路・交通網の整備  
①近江大橋から国道一号线  
を経て、山科へ抜ける地下道  
路を建設する。  
②国道一号线石山一逢坂山  
のバイパスを山手に新設。  
③篠津川、兵田川を暗渠に  
して道路幅を広げる。  
④東海道線別保踏切りの歩  
道の早期着工。  
⑤電柱の地下埋設。下水溝  
に蓋をし路面を拡幅する。  
⑥通行妨害となる不法駐車  
の厳正排除。局的、時間的  
な通行制限又は禁止をして、  
歩行者や子どもの遊歩場確保。  
生涯教育体制の確立、整備  
学校、園、公民館等社会教  
育機関、PTAを始め各種団  
体等の緊密な連携と一体的実  
践を推進する。  
A、学校教育

は、成人すべてが青少年に対  
する理解を深め愛情を持ち、  
自らを省み、指導者を養成し  
環境を整えて地域の教育力を  
高め、町をあげての真剣な取  
組みを進める。  
③文化・芸術サークルの育  
成と活動援助。各種研究会や  
講演会の開催のほか、各種情  
報を提供し、学区民の文化活  
動の輪を広げる。  
④各種関係団体協力のもと  
に文化祭、美術展、写真展、音  
楽祭等を開催し、身近に芸術  
にふれられる機会を増大する。  
⑤民俗、歴史資料館を建設  
し、膳所に残る貴重な文化遺  
産の発掘・保存・展示・研究  
等を推進し、伝統的行事やま  
つりの継承、活動助成を図る。  
⑥国際性豊かな学区民育成  
のため、市の海外友交都市と  
の交流を深め、学区内家庭に  
C、社会体育  
留學生を受入れる等、グロ  
バルな文化交流を進める。  
体育・スポーツは学区民の  
心身の発達を促し、健康で幸  
福な生活をもたらすと共に学  
区民の連帯意識を高揚し強固  
にするものである。  
①幼児から老人に至るまで  
皆が体力・能力に応じて手軽  
にスポーツできる環境づくり  
として、小広場を数箇所新設  
し、山手スポーツ公園を拡充  
しテニスコート、更衣室、シ  
ヤワー、合宿施設を整備する。  
②膳所小学校体育施設開放  
を一層促進するため施設を拡  
充整備すると共に、体振等と  
の協力共催で各種スポーツ教  
室を開き、指導者や自主的な  
スポーツクラブの育成を図り、  
スポーツ、レクリエーション  
の普及、生活化をめざす。  
①学区民の自主的な社会活  
動の推進、地域の長期的整備  
計画策定等を通じて、住民意  
識を醸成し、住みよい町づく  
りを進める。  
②市長や行政関係者、地元  
議員等との対話集会を開催し  
て、活発な広聴活動を進める。  
③膳所市民ニュースを通じて  
きめ細かな情報提供や啓発  
活動を推進する。  
④市民運動会やふれあいま  
つり等、全学区的催しを通じ  
て活力ある地域作りを進める。  
⑤学区内各種団体の充実を  
図るため、組織、体制の見直  
しや活動を再検討して充実を  
図ると共に、団体間の連携を  
より緊密にする。  
⑥地域活動に意欲があり、  
知識や技能を有する人材の発  
掘を図り、リーダーやボラン  
ティアの養成につとめる。  
⑦市民センターの新築と併  
行し、各自治会集会所の建設  
整備や社寺境内や広場等の拡  
充整備を進める。  
その他  
多様化する消費需要、大規  
模小売店に押されて衰退の一  
途をたどる商店街対策、観光  
問題、ごみ対策や河川・びわ  
湖の汚濁を初めとする各種公  
害対策、人権意識の高揚と部  
落差別の解消をめざす同和教  
育や家庭教育等々についての  
提言ができなかったが、地域  
社会の快適条件は暖かい人間  
関係こそが第一である。学区  
民一人ひとりが、歴史と伝統  
の町膳所を大事にしなが  
ら、よりフレッシュで調和のとれ  
た、快適で風格のある町膳所  
の創造を目指して懸命に努力  
し、次代へと引継いでいき  
たいものである。

## 21世紀にむけた膳所のまちづくり

# 民踊一すじ



立入 いと先生(75歳)

今号は華やかな方に御登場いただきました。

民踊の指導者、立入いと先生です。

お住いは京阪膳所本町踏切の真前、膳所二丁目8-9。お若い時から美しい方でしたが、今もおお年を感じさせず、十数歳もお若く見えます。常に生き生きと体を動かしておられるからでしょう。

民踊を始められたのは、戦後、創設された和楽会と行を共にしてこられました。更に毎週、地元膳所公民館の民踊グループの和楽会、うづぎ会や、別保いと美会の指導を初めとして、市の老人福祉センター、晴嵐・瀬田公民館から、甲賀郡の石部公民館、水口の碧水老人福祉センターまで、十余個所の愛好グループを指導しておられます。

特に嬉しいのは、老婦人が若々しく美しくなられたこと、健康で体が動かせるといふことが、指導させていたがたいと願っておられます。

先生の民踊指導者としての御研究はさすがです。○昭和44年、日本民踊指導者連盟公認の講師。○55年、クラウン邦楽舞踊協会特別指導員。○同年、日本現代舞踊の内海流を免許され、雀鳳津を号される。

# 栄誉に輝く人たち

- ◎叙勲(11・3)
  - 初田勇一氏(73 膳所二一2)
  - 126、鳥取大名誉教授) 教育研究功勞により勲三等旭日中授章を。
  - 芦田千代氏(77 中庄一17)
  - 137、第二びわこ学園看護部(婦長) 看護業務功勞により勲六等宝冠章を。
- ◎文部大臣表彰(10・3)
  - 中村安蔵氏(70 昭和町1-1)
  - 2、奈良産業大教授) 体育功勞者として。
- ◎労働大臣表彰(11・10)
  - 奥村正和氏(52 御殿浜4-1)
  - 2、県瓦工事協同組合理事長) 高等職業訓練校長) 社寺屋根ふきの現代名工として。
- ◎日本フオークダンス連盟表彰(功勞賞 11・16)
  - 立入いと氏(75 膳所二一8)
  - 19、民踊指導者) 民踊の指導により、普及発展に寄与。
- ◎第11回県文化賞(11・5)
  - 谷口幸彦氏(本名啓三、80 昭和町8-13、彫金作家、滋賀工美会会長) 湖国の文化・芸術の発展に貢献した功勞者として、知事より表彰。
- ◎県体育協会表彰(8・6)
  - 古田新次氏(64 膳所一16)
  - 30、大津市サッカー協会会長) 滋賀OBサッカー協会会長) サッカーの普及振興、県社会体育の発展の功勞者として。
- ◎市政功勞者表彰(10・1)
  - 徳永真一郎氏(前掲)市並びに市民生活の公益増進に貢献。
  - 谷元末男氏(70 膳所一15)
  - 14、自営業) 自治行政の振興に貢献。
- ◎市教育功勞者表彰(11・11)
  - 野村和男氏(67 木下町3-19、無職) 弓道を通しスポーツ振興と青少年指導への功勞者として。
- ◎市民文化奨励賞(市文化連盟表彰 11・15)
  - 膳所やすらぎ短歌(膳所婦人会の文化部で、膳所公民館利用者団体。代表者は遠藤えい氏 38人) 月例会を開催して、歌集発刊、膳所にかかわる古典、万葉の研究を推進し、品格高い膳所の町づくりに貢献して。
- ◎市体育協会表彰(11・29)
  - 田附行雄氏(56 御殿浜14-16、栗東中学校長) パレーポ

1ル競技の運営、大会の振興に貢献し功勞賞。

鈴木信哉氏(55 御殿浜1-22) 膳所小学校教諭、水泳協会常任理事、水泳の普及活動に寄与し功勞賞。

今井健治氏(55 中庄一14) 25、会社員) 膳所体振役員として地域スポーツ振興に貢献。

平井守氏(54 本丸町6-15) 203、会社員、膳所体振役員) 地域におけるスポーツ活動振興に貢献し体育奨励賞受賞。

**全国青少年健全育成 強調月間に諸行事展開**

膳所学区青少年育成 学区民会議

11月は、全国軌を一にした青少年健全育成の月。

膳所学区においても、健全な青少年の育成を願う学区内の働きを総集し、地域ぐるみの風土づくりを高める行事を展開した。

11月6日、大きな教育課題となっている「いじめ」を考えるため、「やがて春」のフィルムフォーラムを、膳所小学校PTAと共同で開催。このことに心をよせる、小学校PTA関係者、民生児童委員、各自治会の青少年委員、指導員等約一五〇名の参加があった。

11月18日、学区民会議の提唱により、膳所小学校・栗津中学校のPTA地域委員、民生児童委員、指導員等の地域関係者が一体となってあいさつ運動を実施した。

**連携と共同を求めて**

栗津中学校PTA

子ども達が栗津中学校に学んでよかったと言える学校づくりは、PTAの働きを回復することからと。

10・3生徒会が中心に取り組んだ文化祭に協力。生徒・先生・父母が一体となった学校風土づくりをめざした。

11・9 奈良県老分小学校の浜田博先生を講師に両親学の浜田博先生を講師に両親学級開催。これに民生児童委員・自治会青少年委員・指導員等地域関係者も参加願ひ、学校・家庭・社会三者の共通理解と活動の高まりに期待が寄せられた。

11・18 地域あげてのあいさつ運動実施。

中学生問題に対し、連携と共同を求めての日々を重ねているところである。

# 主張

科学技術の進歩や機械化の進展は、生産増大と経済成長をもたらす。私達の生活様式を改革し、便利さと物の面の豊かさを与えてくれました。

けれど反面、価値観の多様化、商業主義の浸透、都市化、核家族化が進み、生活は変化し、家族の絆はもろくなってきた。家族がかわりあつて果ては家庭成立の基本であったものを喪失し、今で

は、出産、病人の看護、葬儀やまつりごとを始め、食事や洗濯、清掃まで、業者に委託しなければ遂行できない状態になってきました。

血縁地縁による共同体的関係は薄れ、人間性は疎外され、連帯意識が稀薄・喪失して、相互に隣人を失った孤独な個人の非人格的な結合集団に陥り、家族問題、離婚、非行、いじめ、暴力(団)、アルコール、麻薬、自殺、殺人、公害、犯罪等多くのひずみや課題が生じ、精神的貧困が叫ばれています。

危機的と言われるこの現状を、出産、病人の看護、葬儀やまつりごとを始め、食事や洗濯、清掃まで、業者に委託しなければ遂行できない状態になってきました。

**21世紀につながる街づくりは**

危機的と言われるこの現状を、出産、病人の看護、葬儀やまつりごとを始め、食事や洗濯、清掃まで、業者に委託しなければ遂行できない状態になってきました。

近頃、より住みよい膳所のまちづくりのための住民会議を行う予定でもありますが、町づくりには住民の主体的な参加と、長い歳月にわたるたゆまぬ努力、連帯が欠かせません。住民各位の深い御理解と御協力により、21世紀につながるまちづくりを、今から進めたいと考えています。

自治連合会長 谷元末男

# 新年あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしく

滋賀県議員 仲川半次郎 中庄二丁目17-6 電話三二一七二六	大津市議員 中山忠 中庄二丁目14-24 電話二五一〇〇一	膳所学区自治連合会 会長 元末男 副会長 白井四郎 " 床尾梅次郎 会計 青山寅一	膳所学区社会福祉協議会 会長 野添弘藏 副会長 松田新右衛門 " 井上博 " 床尾梅次郎 庶務 青山寅一 会計 沢井春雄	膳所学区青少年育成学区民会議 会長 沙加戸明 副会長 松田新右衛門 " 高木良之助	膳所学区青少年育成学区民会議 会長 沙加戸明 副会長 松田新右衛門 " 高木良之助	膳所学区民会議 会長 柴山久枝 副会長 一井俊男 " 中村有里峰	膳所婦人会 会長 柴山久枝	膳所子ども会育成指導者連絡協議会 会長 白井四郎	膳所支所 大津市立膳所公民館 職員 一同
---	--	---	--	--	--	---	------------------	-----------------------------	----------------------------

町なか

あれ、これ

桜馬場の巻

江戸期膳所藩の馬術訓練場、桜の木を多く植えたことからその名がある。

寛文の頃第八代藩主本多俊次が創設、享保文化のころ文武振興のため畿内では比類のない壮大な本多御自慢の馬場だった。約三百本の桜が満開の頃には、流鏑馬(やぶさめ)や競馬(くらべ馬)などが盛んに行われた。廃藩後その桜は伐採されて畑地にされた。

昭和39年4月住居表示施行により中庄二丁目の一部となった。現在の桜馬場町は、今なお城下町の静かなたたずまいを残しているが、世帯数二七〇、(人口約八〇〇)の膳所学区では一、二を争う新しい息吹が流れる街でもある。

昭和61年度には、自治会長始め町民の熱意と努力により、町の一角に永年の希望であった自治会館の建設を見、去る11月9日(日)10時より関係官署その他の来賓を迎え竣工式が挙行されたことはよろこばしい。

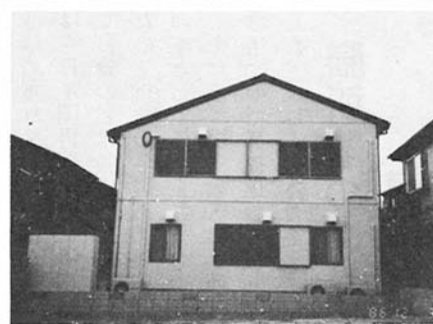
人生の旅に疲れた人たちに憩の宿を

人生は旅であります。長い旅の間には山有り谷あり、疲れて病むこともあり。そんな時ちょっとした気くばりとか、一服の薬をいただくことで元氣百倍、次の旅への第一歩を元氣にふみ出すことができるものです。

本会は人生の旅に疲れた人達に暫しの憩いの宿を提供し、その間に身も心もき麗にして第二の人生へ旅立つことを助

式が挙行されたことはよろこばしい。

総事業費約三千万円(滋賀県、大津市の補助金千五百万円、町内外寄附金千三百万円、物品寄附二百万円)を基金とした鉄骨スレート瓦葺総二階建の会館は、敷地面積一〇〇、〇一㎡、延面積一〇六、八〇



桜馬場自治会館

一階三室(和室)台所、洗面所、二階二室(板張り)上下トイレ付の効率的な建物で、まず自治会長自筆の「桜馬場町自治会館」の看板がまばゆく、各種スポーツ大会の表彰状が壁を飾る。

おめでとう赤ちゃん

Table listing newborns with columns for birth date, name, and residence.

年寄りもガンバッテマス

老人クラブ

今後は、地域住民の生活文化並びに福祉の向上を図る諸行事、親睦と交流の場として大いに活用される事が期待できる。なお懸案事項として、0才から中学までの子育て、並びに教育懇談の場を持ちたいとの父兄の切望もあり、町内在住の多数の教育関係者(OBを含む)と有志により至急具体化の方向へと気運が高まりつつある由で、春に魁けて活気に満ちている自治会です。

これ偏に町内の方々の御温情とお力添えによるものであり改めて厚くお礼申し上げます。

今いろいろ国際会議が我が日本で開かれ、多くの外国の方々をお迎えしていますが、それは我が国の治安が良いからであり国の大きな誇りでもあります。共々に更に住みよい明るい社会づくりの励み治安の向上



委員の一部改選

民生児童委員協議会

厚生大臣から民生委員を、県知事から児童委員を委嘱され、居住地周辺にて、生活困窮者や母子世帯、児童及び妊産婦の生活並びに環境状況等をつかみ、その保護・保健・福祉に關し援助・指導・協力を任務とする委員が29人、3年を任期として勤めています。が、丁度11月末で改選期となり、小林太郎総務外2人が退任された後を、野口幸子、木下町、木村敏彦、湖城が丘、桑名信子、丸の内町、と増員分として重松美代子、御殿浜4-9、の4氏が就任しました。

なお、総務、副総務には、松田新右衛門、晴嵐二一、25、川元清次、中庄一、11、12、三上博子、膳所一、20、20の各氏が選任されました。任期は64・11・30までの3年間です。委員各位の活躍に御期待いただくとともに、御理解と御支援を下さるようお願いいたします。

席を移し、障害者の父母や介護者を混じえて昼食と歓談の和やかな一時が持たれ、親睦と交流が深められました。又、11月23日(日)にはボイスアウトの少年連や、その父母達との三世交代交流会も実施されました。私達もゲートボールだけ



学区内の社会福祉活動

社会福祉協議会

「支えあい、明るい年末年始を」をスローガンに、11月23日(日)午後、公民館3階ホールで、チャリティバザーを実施しました。学区民の皆さんから寄せられた善意の拠出品は展示即売され、約23万円の売上となりました。このほか現金拠出分の33万円、歳末助けあい募金50万円と合算して、学区内の寝たきり老人、身心に障害のある人々、要保護家庭やその入院・入所者等々約七百名に、御見舞や御援助として、年末に配分お届けしました。

皆さんからの心暖まる御協賛に厚く御礼を申し上げます。なお、当協議会としては、チャリティバザーの外、高齢者を励ます会、独居老人への屋敷サービス、慰問等を実施してありますが、社会福祉の精神を体し一層努力を積み重ねますので、御理解と御協力を切にお願いいたします。

に尽したいものです。何とぞこの上とも今までの御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

